



週 報



2026-2027 年度 RI 会長メッセージ「持続可能なインパクトを生み出そう」

地区ガバナーメッセージ

「Happy Rotary みんなのために」

東京本郷ロータリークラブテーマ 皆が主役の 誇れるクラブづくりに 皆で取り組もう

会長：市河久和 副会長：米倉伸三 会長エレクト：本郷 滋 幹事：澤部利藏 会報リーダー：岩白啓佑

創立／平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

例 会：水曜日・月3回 (内オンライン1回有) 12 時 30 分

例会場：ホテルメトロポリタンエドモント 電話：03-3237-1111

〒102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

事務局:E-mail: office@t-hongo-rc.gr.jp



ホームページ



Facebook



TOKYO_HONGO_ROTARY_CLUB

「例会を録画したデータが事務局にあります」

第 1582 回例会

本日の例会 (8月19日)

ブッフェ例会

&

「東京本郷 Universal Harmony

ロータリー衛星クラブについて」

東京本郷 Universal Harmony

ロータリー衛星クラブ

議長 頼光貴恵会員

幹事 清水貴茂会員

紹介者 飯塚貞子会員

次回の卓話 (8月26日)

オンライン例会

「イニシエーション・

スピーチ」

滝川 学 会員

8月5日第1581回例会報告

会長報告

1. ロータリー財団より、ポール・ハリス・ソサエティである星野大記会員へ、第7回MPHFの表彰ピンが届きました。



幹事報告

1. 8月のロータリーレートは1ドル=162円です。
2. 2026年1月～6月末の間にロータリー財団へご寄付いただきました方へ確定申告用の領収書が届いておりますのでご確認下さい。領収書は再発行ができませんので、申告時期まで大切に保管をお願いします。

3. 2026年6月24日最終例会で撮影しました集合写真データを配信いたしました。プリント写真をご希望の方は1枚=¥2,750にて承りますご連絡下さい。
4. 本日の例会で「ベネズエラ地震並びに令和8年熊本地震」の支援金につきまして、専用のニコニコ用紙をご用意しました。支援金欄にチェックしていただき、ご提出下さい。両方への寄付の場合は、金額を1/2と明記しましたが、指定金額を記入いただければ、ご希望の配分を承ります。

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

出席報告

会員数	38 名
出席数／欠席数	27 名／9 名
出席免除者数	2 名
出席率	75.00%

クラブゲスト： 卓話講師

高松健司様

大森洋介様

青木会員・飯塚会員ゲスト

溝口智宏様

ニコニコ BOX

*岩白啓佑会員

誕生日祝い、ありがとうございます。

*熊井 寛会員

誕生日祝い、ありがとうございます。

*田上睦深会員

溝口様、ようこそ本郷ロータリークラブへお越くださいました。先日はおいしいかりんとうをありがとうございました。ぜひ楽しんでお過ごしください。

*山路敏之会員

①35周年記念のGG 佐藤さんの講演内容が『ロータリーの友』11月号に掲載されることになりました。

②同じく35周年記念のお福分会への取組みがロータリーの友10月号に掲載されることになりました。

*飯塚貞子会員

『かりんとう ゆしま花月』は私も大ファンです。溝口様、東京本郷ロータリークラブへようこそ！

*市河久和会員

誕生日祝い、ありがとうございます。

*篠崎陽一会員

①誕生日祝い、ありがとうございます。

②特別記念日のお祝いありがとうございます。
長男の誕生日です。

*三浦謙吾会員

高松さん、大森さん、本日の卓話どうぞよろしく
お願いいたします。

ニコニコ BOX 20,000 円

累計 115,040 円

災害支援金へのご寄付(8/29 例会まで受付しております)

◆ベネズエラ地震支援金

本郷 滋会員、星野大記会員、市河久和会員、
小林健太郎会員、服部浩美会員、山路敏之会員

◆令和8年熊本地震支援金

平野 治会員、本郷 滋会員、星野大記会員、
市河久和会員、小林健太郎会員、滝川 学会員、
服部浩美会員、山路敏之会員

～ ありがとうございます ～

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

「会員増強委員会主催 交流会ご報告」

日時：7月29日（水）／会場：スマートショット



7月29日（水）、会員増強委員会主催による交流会を、スマートショットにて開催いたしました。今回は“初心者ゴルフ練習会”と題し、新宿の室内ゴルフ練習場にて、ゲストの山本様を囲みながら、和やかで笑いの絶えないひとときを過ごしました。

昨日の練習会では、初心者とは思えないほどのナイスショット(?)が続出し、終始にぎやかな雰囲気。ときには「これは奇跡かもしれない」と思わ

せるスーパーショットが飛び出し、参加者一同、思わず heart eyes Moon になる場面もありました。そして今回のラウンド優勝は—— 平野・三城ペアが見事に栄冠を獲得。

一方で、惜しくも“ビリビリチーム”となってしまったのは 杉山・曾我ペアでした。

勝敗はつきましたが、どのチームも笑顔いっぱい、まさに交流会らしい楽しい時間となりました。

ご参加いただいた皆様に、心より御礼申し上げます。

次回イベントについて

次回の交流イベントは 10月末頃 を予定しております。今回同様、楽しく参加しやすい企画を準備いたしますので、ぜひ会員候補者の方をご紹介いただき、より多くの皆様と交流を深められれば幸いです。

会員増強委員長 田上睦深





組織の新陳代謝と ポジティブな退職戦略



Talent Fine Tuning 代表 高松様

×

Project Drive 株式会社 代表取締役 大森様

8月5日の東京本郷ロータリークラブ例会では、大森氏と高松氏による卓話「組織の新陳代謝とポジティブな退職戦略」が行われた。今回の卓話では、退職を単なる離脱や失敗としてではなく、組織と個人の双方にとって前向きな再出発の機会として捉え直す視点が示された。日本企業では長期雇用や高い定着率が重視される一方で、人材の流動性が低く、それが組織の停滞や生産性の伸び悩みに結びつく場合があるとの問題提起がなされた。

特に印象的であったのは、多くの企業が採用や育成といった「入口」の管理には力を注いでいる一方で、配置転換や退職支援といった「出口」の設計が十分でないという指摘である。卓話では、組織の健全性を保つためには、優秀な人材を引きつける求心力だけでなく、状況に応じて適切な循環を生み出す仕組みも必要であると説明された。退職をネガティブに隠すのではなく、一定の対話と支援を伴う「卒業」として位置づけることで、本人にも組織にもより良い結果をもたらす得るという考え方が共有された。

その具体策として紹介されたのが、社員の現状を可視化し、対話の土台をつくるための人材整理の手法である。パフォーマンスと将来性の二軸で状況を見極めることで、感覚的な評価ではなく、より客観的に育成・配置・支援の方向性を考えることができるようになった。



「対談形式でお話いただく高松様と大森様」

また、成果が伸び悩む人に対しても、直ちに結論を出すのではなく、改善の機会を設けたうえで、本人の意思や適性に沿った次の選択肢を支援する姿勢が重要であると述べられた。

さらに、外資系企業などで見られる移行支援の考え方にも触れられ、退職までの期間を不安な空白にするのではなく、次のキ

ャリアを準備する時間として支えることの意義が紹介された。これは単なる人員整理ではなく、法務面の適切な対応、本人との誠実な対話、そしてキャリア形成への配慮を一体で進める姿勢に支えられるものである。卓話全体を通じて、組織の新陳代謝とは人を減らすことではなく、個人の尊厳を守りながら組織の活力を維持する営みであることが強調された。

今回の卓話は、企業経営や組織運営において、採用や定着だけでなく、送り出し方まで含めて人材戦略を捉える重要性を改めて考える機会となった。退職を後ろ向きに扱うのではなく、個人の自立と組織の発展を両立させる前向きな戦略として設計することが、これからの時代に求められる視点であると感じた。